

令和7年度



しもよねだ

第6号

令和7年8月29日(金)

夏休みに蓄えた養分を糧に

校長 安藤 由美子

長い夏休みが終わりました。学校から離れた子ども達はどんな様子だったのでしょうか。夏休みに垣間見た子ども達の姿を紹介します。

◇放課後児童クラブに通ってくる子ども達が、毎朝、指導員の方に元気に挨拶する声が響いていました。廊下で出会うと、いつも「こんにちは！」と笑顔の挨拶をしてくれ、その爽やかさに暑さも忘れしました。

◇スポーツ少年団の大会の開会式で、本校の6年生児童が進行役を務めました。大勢の人を前に堂々たる司会ぶりを披露し、感心しました。

◇学校運営協議会の呼び掛けで、地域の有志の方が集まり、校地内にはびこった草を抜いてくださいました。暑い中でしたが、家族と一緒に参加してくれた児童もいました。気持ちよい環境でみんなが授業を再開できる環境を整えてもらえたことに感謝します。

学校を離れても、子ども達はそれぞれの場所で夏休みまでに着けた力を発揮し、または、さらに伸ばしている様子を見て、嬉しく思いました。

今日、学級では夏休みの宝物発表会が行われました。嬉しそうに話す子ども達の表情を見ていると、各家庭で休みの間にたっぷり養分を蓄えてきたことを感じます。思いっきり遊んだ夏の思い出、家族と一緒に過ごした日々、精一杯がんばった習い事や学習——ひとりひとり内容は違いますが、それが彼らの心の養分となり、9月からの生活で新たな芽を出してくれる糧になると信じます。

41日に及ぶ夏休みの間、子ども達を支えてくださったご家族の皆様、ありがとうございました。



地域ボランティアとして参加してくれた児童
ありがとう！